

## 市民活動状況

市内NPO法人数 31 団体  
当センター登録団体数 133 団体  
当センター登録会員数 6,670人  
8月来館者数 1,575人  
8月印刷機利用枚数 16,219枚

龍ヶ崎市市民活動センターだより VOL.110

2018年10月号

# ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や  
大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。  
開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。  
休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日  
〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571  
E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL <http://r-shimin.sakura.ne.jp/>

## 今月のトップニュース

## センター長の「目指せ！市民活動日本一」その69

### 近隣市民活動センターの視察・調査研究

龍ヶ崎市が全国に誇る行政の重点施策の一つに「市民活動日本一」がある。ネット検索しても行政が声高らかに「市民活動日本一」に取り組んでいる自治体は全国には見当たらない。つまりこの挑戦こそがまさに「市民活動日本一」だと思う。昨年、初めて県の中核水戸・交流サロームいばらきと日立製作所のまち「ひたちなか」を市の支援を受け視察・調査した。日本一とはNO. 1。つまり具体的な施策、数値目標、進捗率を設定し、その達成率を比較してこそ「日本一」だと考えている。



そのことについて具体的に龍ヶ崎市の身の丈にあって、当事者が達成感を味わえて「自慢づくり」に繋がる方策の展開こそが、龍ヶ崎の求める「市民活動日本一」であるべきだ。

「市民活動日本一」でネット検索すれば「龍ヶ崎市民活動センターホームページ」はこの3年間不動のランキング1位をキープしている。2位にはならない！指定管理者が全国に誇る事案である。

そして今年の視察調査はまず「守谷市民活動支援センター」。市民活動支援に関する顕著あるアンケート調査研究、市民団体との交流システム、市民大学の運営、商工会とのコラボ等で注目すべき活動を展開しています。次に「あびこ市民活動ステーション」((株)東京ドームファシリティーズが指定管理)。多彩なイベント、当日ボランティア体制づくり、メールマガジン、公開講演会等々。実際に学ぶ中から身の丈に合った龍ヶ崎独自の市民活動を研究し、日本一活動に反映したいと考えている。

同行メンバーは市議会議員、市職員、学識者、民生委員、コミュニティーセンター長、NPO代表長寿会長、地域おこし協力隊の皆さんに参加をお願いする予定だ。

オール龍ヶ崎で学び、語らい、行動する集団づくりをスタートさせたいと思う。「利用者第一」、目標の設定と成果のプロセス管理(PDCA)が肝要であり、総力で改善活動に繋がることを念じている。

## 親子で米作り体験&生き物観察

市民活動センター登録団体の大人の田んぼ塾(佐藤博代表)で、5月19日に田植えした稲が台風にも負けず見事な稲穂を付けました。

さあ 稲刈りです。9月8日快晴 心は楽しく、作業は一生懸命頑張りました。

早く美味しいお米が食べたいな・・・



稲刈り



藁縛り



藁掛け



記念撮影

